

徳島県勝浦町における「国内最古級の恐竜化石含有層(ボーン・ベッド)」 と「新たな恐竜化石等」の発見について

1. 概要

徳島県勝浦町では、平成6年4月に四国初の恐竜化石である鳥脚類(イグアノドン類)の歯の化石が発見されました。平成28年にも、2例目の恐竜化石となる竜脚類(ティタノサウルス形類)の歯の化石が発見されています。この2例目の発見を機に、徳島県立博物館が中心になり、福井県立恐竜博物館および県内の化石愛好家の方々の協力のもと、勝浦町内で恐竜化石を含む地層調査を続けてきました。

過去に徳島県で発見された2例の恐竜化石は、いずれも地層から抜け落ちた転石中から見つかったもので、恐竜化石を含む地層の特定はできていませんでした。しかし、これまで行ってきた現地調査の結果、恐竜化石含有層(いわゆる「ボーン・ベッド」)および新たな恐竜化石等を発見しました。

2. 発見のポイント

- ① 勝浦町内の私有地において、これまで特定できていなかった恐竜化石含有層(ボーン・ベッド)を発見
- ② 県内3・4・5例目となる恐竜の歯化石3点を発見
(このうち1点は、最大歯冠高 3.8cmと、竜脚類歯化石としては国内最大級)
- ③ 恐竜の骨質化した腱化石2点を中四国で初めて発見
- ④ 発見した地層からは、上記の恐竜化石をはじめ、白亜紀のワニの歯化石(中四国初)およびカメの甲羅など合計「45点」の脊椎動物化石を発見

3. 発見場所

徳島県勝浦町には、白亜紀前期(約1億 3000 万年～約 1 億年前)の地層(物部川層群)が分布しています。この地層の一部は、湖・河川または、汽水域(淡水と海水が混ざる干潟のような環境)でできた地層からなります。今回、この湖・河川または、汽水域でできた地層を調査した結果、恐竜化石含有層及び新たな恐竜化石等を発見しました。

4. 主な発見化石の内容

(1) 竜脚類恐竜の歯化石

今回発見された恐竜の歯の化石3点は、平成28年7月に発見された恐竜化石と同じ竜脚類に含まれます。発見された1点は、最大の歯冠高が 3.8 cm あり、平成28年7月に発見されたもの

(最大の歯冠高 2.3 cm) の 1.5 倍を超え、国内で発見されている竜脚類の歯化石の中でも最大級のサイズになります。

(2) 恐竜の骨質化した腱化石

今回、恐竜の歯の化石とともに、恐竜の骨質化した腱化石2点も発見されました。恐竜の一部のグループ、特に鳥脚類(イグアノドン仲間など)では、椎骨(脊椎骨や尾椎骨など)を補強するため、椎骨をつなぎ合わせる腱組織をカルシウムで満たして、骨質化させる場合があります。

(3) 白亜紀のワニの歯化石

恐竜の歯及び腱化石とともに、同じ地層から、白亜紀のワニの歯の化石2点も発見されました。他県の恐竜化石産地からも、ワニ化石が産出しており、白亜紀前期当時、恐竜が生息していた周辺には、ワニも生息していたと推定されます。中四国地域の前期白亜紀の地層からは、これまでワニの化石の産出の報告はなく、今回の発見が、中四国初となります。

5. 今回発見の意義

- ① 1例目、2例目の恐竜化石は、地層から抜け落ちた転石中から発見されたものでしたが、今回は、恐竜化石含有層を発見できたことから、今後の発掘次第では、追加の恐竜化石の発見が期待できます。
- ② 日本の白亜紀の恐竜化石産地の多くは、福井県勝山市や石川県白山市、兵庫県丹波市など、日本海側にありますが、徳島県をはじめとする太平洋側(中央構造線より南側)にある白亜紀層からの恐竜化石の産出は少ない傾向にあります。白亜紀当時、日本海側に分布する白亜紀層は、内陸部でできたと推定されています。それに対して、徳島県に分布する白亜紀の地層は、沿岸部で堆積したと推定されています。このため、徳島県勝浦町から今後数多くの恐竜化石が発見できれば、白亜紀当時の日本列島の沿岸部にいた恐竜の全体像が、明らかになることが期待できます。
- ③ 徳島県勝浦町の恐竜化石含有層は、国内最古級に相当します。そのため、東アジア地域の恐竜の進化を解明するために重要な地域といえます。

6. 発見化石の展示

今回発見された恐竜化石等は、8月10日(金)から10月14日(日)まで、徳島県立博物館2階常設展示室内のトピックコーナーにて展示する予定です。

(※7月21日(土)から9月2日(日)まで「家族でおでかけ・節電キャンペーン」で、どなたも常設展示室を無料でご覧になれます。)

また、8月12日(日)から19日(日)まで、勝浦町図書館2階視聴覚室で行われる「化石展 写真展」において、写真パネルを展示する予定です。

《参考写真》

竜脚類恐竜の歯化石 3点



恐竜の骨質化した腱化石 2点 (鳥脚類恐竜の可能性あり) (※中四国地域で初発見)

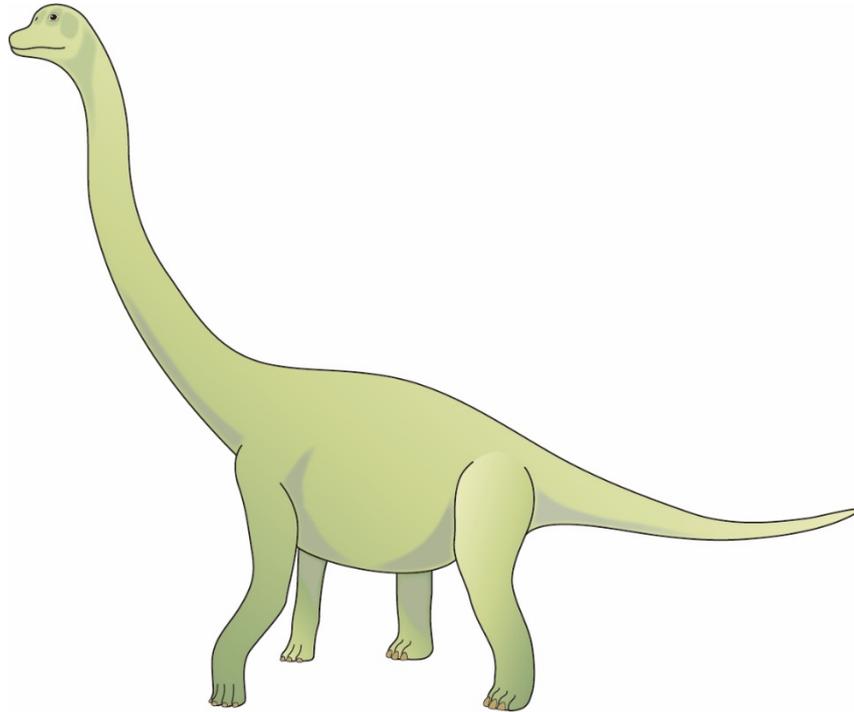


白亜紀ワニの歯化石 2点 (※中四国地域で初発見)



今回、徳島県勝浦町から発見された恐竜化石をはじめとする脊椎動物化石
(文章中の標本番号に対応) (写真提供：徳島県立博物館)

《参考画像》



歯化石が産出した竜脚類恐竜の想像図
(画像提供：徳島県立博物館)



前期白亜紀の地層

恐竜化石含有層と新たな恐竜化石等が発見された勝浦町の位置と白亜紀前期の地層の分布
(画像提供：徳島県立博物館)